

2014 年 11 月 2 日

ほしざらサロン 9 月議事録

文責：竹原明理

日 時：2014 年 9 月 27 日（土）

場 所：プレハブ会議室

参加者：河野、篠原、高木、宮田、山田（明）

（50 音順、敬称略）

職 員：小野田、平野、角田、山本、竹原

（計 10 名）

1. 9 月 28 日（日）の土星食観察について

土星が月の後ろを通り土星食の観察について話し合いました。

【補足】12:04～13:10 の間で、土星食が起こりました。当日は、山田明さん、篠原さん、高木さん、與古光さん、河野さん、立石さんが参加されました。晴天ではありましたが、霞がかかった空でしたので、昼間の月も見えにくく、土星食の観測も非常に難しい状況となりました。後ほど、画像を分析してみると、微かに写っているのがかろうじて確認できました。

2. 12 月 20 日（土）の特典ほしざらウォッチングについて

ほしざらスタンプ金賞・銀賞の方々に参加していただく、特典観望会です。ねらいとしては、「自分のピントで心ゆくまで見たい天体を見る」というもので、天体の写真撮影も可能とします。観望会は慌ただしく過ぎ去っていきますが、今回は、とにかくゆっくり観ていただこうというものです。

また、スタッフと参加者がゆっくり交流できる場にもなるかと思います。小野田さんからは、「どうして毎回ほしざらウォッチングに来るのか?」、「どうして普段の投影にはあまり来ないのか」を聞いてみたいという意見も出ました。

12 組（33 名）の方（うち、4 組は友の会会員）が参加予定です。10 月中に案内（招待状）を送付予定です。①19 時、②20 時の 2 回行います。集合場所はアクアドーム¹。人数の内

¹ 正助村など場所を変えて行うなど、色々な意見がありましたが、事前アンケートで、観望場所がユリックス以外 NG の方が 2 組（8 人）いらしたので、ユリックスで実施することとなりました。アクアドーム集合後、風の丘や芝生広場に移動する可能性もありますが、現時点では未定です。

訳は以下の予定です²。

①19時～：9組（26人） ②20時～：3組（7人）

当日が雨天の場合、延期はありません。プラネタリウムの中でイベントを計画したいと思います。【→別項「3. 12月20日が雨天の場合について」へ】

当日の星空の様子と観望対象候補について、主に以下のような事項が挙がっています³。

- ・当日は新月
- ・木星は観られない（22時頃から出てくる）
- ・スバルがちょうど良いところにあるので、対空双眼鏡を使って観たい
- ・ペルセウス座の h·χ 観るか？
- ・秋の星座を見つける
- ・夏の大三角は20度くらいの高さにある
- ・火星は15度の高さ
- ・海王星・天王星も観ようと思えば見えるのでは？

3. 12月20日（土）が雨天の場合について

特典観望会当日が雨天の場合について、種々の意見が出ましたので、別項を設けました。先述のとおり、今回は、雨天時はプラネタリウムの中でイベントという計画ですが、その中身についての意見のほか、振替についても案が出ましたので、記録しておきます。

雨天時の具体的な内容については、10・11月のサロンで決定していきたいと思います。

宮田さん：
・パーフェクトの人たちは雨でも来るので、バックヤードツアーをしてはどうか？（プラネタリウムの裏側を見てもらう）
・誕生日の星座など、リクエストに応える特別プログラム

平野さん：
・観望会の人たちはあまりプラネタリウムに来ないが、バックヤードツアーをきっかけに来るようになるかもしれない

² 事前アンケートの結果、①19時希望が9組、②20時希望が1組、③どちらの時間帯でもOKが2組でしたので、②と③の方は、20時に来ていただくことにしました。

³ ちなみに、当日午前中に友の会の活動があります。テーマは「流れ星について」。こぐま座流星群の話などをするので、内容に即したものを観望してもいいかもしれません。

河野さん：・雨天時はプラネットツアーがいいと思う

- 篠原さん：・2月21日に寒さに耐える観望会はどうか？
・この日は、冬の星座や木星が見ごろで、月も薄い（細い）
・日の入りは18:08、月齢2.4、高さは20度くらい
・19時頃には、月のすぐ下に火星と金星が観られる。20時はダメだが、
冬の星座がたくさん観られる
・とりあえずバックヤードツアーを用意して、当日の天気に合わせて判
断してはどうか？
・寒空の下、望遠鏡に皮膚が張り付くような体験をしてもいいのでは？

4. ほしざらウォッチングの開催頻度について

特典観望会の話から、ウォッチングの開催頻度についていくつか意見が出ました。特に、現時点での観望会がないため、今後組み入れていくか継続して議論していきたいと思います⁴。

角田さん：・月に1回開催し、年12回にする？

平野さん：・2ヶ月に1回はどうか？
・一年の最後に2月にする？

篠原さん：・来年の2月に試しで1回やってみたらどうか？（小野田さん）
・2月をレギュラーに？
・これまでのよう、お月見が最後というのものどかでいい

宮田さん：・2月→9月のサイクルにしてはどうか？
・2月はピント合わせが大変なのでは？

5. 今年度（2014年度）のウォッチングの反省

今年度のウォッチングが全て終了し、来年度に向けての反省と改善点を話し合いました。特に、実施計画と記録についてたくさんの提案・意見が挙がりました。また、新規リーダー

⁴ 2月観望会については、別項【7. 2015年2月21日の観望会計画について】もご覧下さい。

の育成も課題として出ています。

- 宮田さん：
- ・昔の掲示板の投稿を参考に、リーダーがプランを作ってきたが、活動報告を見ても内容が具体的にわからなかつたので、ウォッチングの内容計画書と報告書を作るべきだと思う
 - ・外だけでなく、プラネ内のライブの内容も残しておくべき
 - ・いつも改善案が出るのに、残らないのが惜しい
→例）ISSの情報を出したほうがいいなど
 - ・計画段階で、観望対象の方角と高度は共有しておきたい
 - ・直前のサロンで話し合うのではなく、計画書では基本情報（タイムスケジュールや観望対象）およびリーダーの希望を記録し、報告書では反省点を記録する
 - ・こうした作業は、リーダーの負担を増やすものではない。負担軽減のため、項目は4つくらいにし、穴埋め的に記入できるようにする。「時間」「対象」「望遠鏡の台数」「特色など」。"こうしたい"と思うことは、フリースペースに記入
 - ・新人スタッフ育成も兼ねて全体に、天体情報の調べ方を共有したい
 - ・リーダーの思いは毎回残しておくべき

- 平野さん：
- ・以前は記録などの作業を、ほしざらスタッフがやっていたが、負担になつたので職員がやるようになった

- 小野田さんほか：
- ・簡単にできる最小限のテンプレートを作ってはどうか
→あまり細かすぎるとやる気をなくして続かないと思う

- 角田さん：
- ・以前は年間計画もなかつたが（ウォッチング当日と前週にリハーサルなどをやるくらい）、スタンプカードができるからきっちり決めるようになつた

- 山田明さん：
- ・報告書は必要だと思う。資料室に挙げていたものをどのように活用するか
 - ・現時点では、リーダーになれる人がいない。新しい人もリーダーができるように、今後活用できる資料や報告書を作るべき

- ・リーダーが作るなら、負担になる

小野田さん：　・リーダー／サブリーダー（新人）の組み合わせでシミュレーションや計画ができればいいのでは（実質みんなで打ち合わせをするのは難しいと思うが）

篠原さん：　・必要最低限の情報はリーダーが作る。フォーマットを作って、項目をあてはめていく。時間・対象・望遠鏡の台数・観察のポイントや見どころ…など。欄は少なく、特記事項などのフリースペースを設けて、書きたい人がいれば書く

宮田さん：　・過去資料を（ウェブ上であれこれ）探しに行かなくても見られるようになりたい

山田明さん：　・MYP側のシステム自体をわかりやすくして、新規リーダーが増えるようにしたい
・年間計画の中で、1回は新しいリーダーが担当できる機会を設け、
<新人+ベテラン>の組み合わせで、やり方などを伝授する

6. ホームページの改善について

前述の今年度ほしぐらウォッチング反省会の中で、ホームページの資料室についての改善案がいくつか出されましたので、記録しておきます。現在のホームページでは、初見のスタッフが見づらく、過去資料の閲覧もたくさんのページを遡らないと見つからない、というような状況になっています。シンプルな骨格を構築していくために、どのような改善策を考えられるか、今後も要検討です。

篠原さん：　・ウィキ（wiki）を作る
→まず、骨格があつて中身を放り込んでいき、みんなで一つのページを作り込む。骨格はシンプルにしておいた方がいいので、ウォッチングのみにし、内容は豊かなものにしていい
・中身はあまり入れ込みず、これから予定をウィキにしていく
・過去のものは別のシステムを作つて、アーカイブにしていく

- 宮田さん：
- ・php がそもそもわかりにくくしている
 - ・過去資料を整理して、組み立てていく。挙がった改善点なども書き込めるような仕組みにしたい

7. 2015 年 2 月 21 日観望会の計画について

本議事録 3・4 の項目で挙がった 2 月 21 日観望会計画について、いくつか具体的な案が出ましたので、記録しておきます。実施の有無、お客様の有無、実施方法など⁵、具体的な検討を今後のサロンでしていくたいと思います。12 月まではご意見を募集中です。2 月号のサラダなどで、「緊急企画」の体で告知するなどの意見も出ています。

- 角田さん：
- ・コンスタントに望遠鏡を動かしておきたいので、2 月の観望会はいいと思う
 - ・たまにはこじんまりした会があってもいいのでは

山田明さん：

- ・星がたくさん見えて良い時期

高木さん：

- ・プレセペ星団やプレアデス星団がよく見える

小野田さん：

- ・すぐに暖をとれるように正面玄関でしてはどうか？ハロゲンヒーターなどを置いて

8. 今年のクリスマス企画について

今年のクリスマス企画は、以前のプロキオンのお話をリニューアルして投影し、キャラクターの缶バッジを配ることが決まっています。今後の検討事項として次のようなものが挙がっています。10 月中はご意見を募集中です。

●流れ星投影機の活用について

→11 月中にスタッフに呼びかけて試験投影をするかもしれません

●缶バッジの配布対象と制作個数、デザインについて

→ 配布対象と制作個数

⁵ ほかに、スタンプカード（押印）対象外、金星と火星と月齢 2 の細い月が観望可能、なども記載するか検討したいと思います。

- ・12月時点で幾つ出来ているかで配布年齢を決める？
- ・700～800個くらい作り、大人以外に配布する？
- ・なくなり次第終了？
- ・缶バッジ制作マシーンが壊れたら終わり？

→ デザイン

- ・図柄は今回の登場キャラにしたいが、どの登場人物まで作るか？
- ・キャラによって制作個数を変える？
- ・プロキオンの3パターンとメリーチャんだけにする？
- ・たまにレアキャラが入っている？
- ・今回はかわいいキャラだけで統一しては？
- ・タダで貰えるのだから、貰ったもので我慢してもらう
- ・絵本＋缶バッジ（全キャラ）のセットを作る？

※ 10月以降、デザインをメリスで回します。缶バッジ制作の手順書もできれば用意したいと思います。

●紙芝居実施の有無について

→ 紙芝居を実施したい方は、ご連絡下さい

●原画展の実施について

→ ギャラリーを押さえておくことも可能だが、押さえるなら実施しなければならない。基本的に一日中誰か常駐していなければならぬので、平日の人員確保が課題。また、話し手の確保も難しいかもしれない。

●写真撮影

→ お月見の時の写真撮影が人気だったので、クリスマスも写真コーナーを設置するか？（メリーチャんとプロキオンのハレパネを作る）

~~~~~

今回のサロンは、主題から派生したさまざまな課題が挙がりました。今後も皆さんと情報共有し、意見交換をしていけたらいいなと思います。近々で決定したい事項は、12月20日の特典ほしざらウォッキングと、クリスマス企画の中身です。出来るだけ多くのご意見を募集しておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

次回のサロンは、10月25日（土）です。